

飛躍

狭山青年会報

天理教青年会狭山分会機関誌

- 第1面 委員長あいさつ
 第2面 特別寄稿
 第3面 少年会だより
 第4面 活動記録・編集後記



発行：天理教青年会狭山分会 〒589-0004 大阪府大阪狭山市東池尻3-2547-2 0723-65-0639 編集長：杉本 旬

「君が代」 発祥の地で思う

狭山分会委員長

杉本 栄一

先日、君が代の発祥地として有名な妙香寺へ取材に行った。この寺で明治三年に初めて君が代が演奏されたという。

期待して行ってみると、古びた木造建てのお堂のすぐ横に鉄筋で造られたできたばかりの真新しい立派なお堂が建っている。その奥には会館らしきものがあり、これも最近建てられたようである。

その会館へ入ってみると、修行をしている青年さんが二名いた。お目当ては、君が代がつくられた当時の建物を写真に収めることであつたので、その青年さんに詳しく聞いてみた。聞けば、関東大震災や空襲で被害に遭い、君が代がつくられた当時の建物は全く残っていないという。会館を出たところに記念碑があるが、それも当時のものではないという。

がっかりして、帰ろうと石段を降りだしたとき、ふと横を見ると石垣の上に古びた釣鐘がある。これはもしやと思い、もう一度戻っ

て聞くと当時のものであるというではないか。よくよく聞いてみると、今降りようとした石段も昔ながらのものであつた。

来た甲斐があつた、と思つて早速写真を撮ろうとすると車が境内に入つてきた。見てみると、後ろから奥さんらしき人が降りてきて、その後ろを青年さんが荷物を持って会館の方へと入っていく。まるで、どこかで見たことのある風景だなあと思いつつ、改めて写真を撮ることにした。

車で気が付いたが、よく見ると境内地にはたくさん車の車がとまつてある。さすが君が代発祥の地ともなればと思うが、その割に参拝者は一人もいない。そこへまた一台の車が入ってきた。中から夫婦らしき二人が降りてきて、どこへ行くかと思えば先ほどの石段を降りて民家の方へいってしまつた。どうやら境内地は駐車場になつて

いたようである。君が代発祥の地といいながら、現実はそのようなものであるうか。真新しい建物がその寂しさを一層引き立てていた。

それに比べて、おぢばは本当にたくさんの方が毎日参拝に訪れる。深夜でも、神殿へ行けば必ず誰かが参拝している。もちろんおぢばは人間の宿し込みの場となる場所であり、われわれ人間のふるさとであるから当然といえば、当然でしょうが、改めておぢばのすばらしさを痛感させられた出来事であつた。

さて、いよいよ天理教青年会総会も27日と日が迫ってきた。一人でも多くの方がおぢばへ帰らせていただき、親神様、教祖にお喜びいただき、おぢばを賑やかにさせていたかどうかはありませんか。

青年会総会に参加しよう

「十月二十七日、心は晴天。あらかとつりょうの使命を心に治め、青年会長様を芯に、一手一つに世界たすけへ向かう今。更なる躍進を誓い合う第七十五回天理教青年会総会。さあ、天理青年は意気と情熱をもってちばに結集しよう。」

総会式典

日時：立教一六二年十月二

七日（水）午前十時

場所：本部中庭

前夜祭

日時：立教一六二年十月二

六日（火）夕づとめ後

場所：東西潜水プール前広

場

狭山分会では、総会にごぞつて参加させていただきませぬ。二七日当日、九時四五分に、本部お茶所前に集合していただきます。昼食はみなさんいっしょに会食の予定です。

特別寄稿

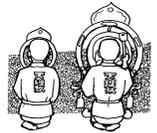


わたしの信仰目標

泉鳳分教会長

濱本

秀彦



青年会からの御指名で、何か記事をとということですが、ご存知の通りの私ですので、皆様のレベルからは程遠いことですが、私の信仰の目標を三点書かせて頂き、余白を埋めさせて頂きます。

勿論、私は親からの信仰で、匂々には節目はありませんものの、何とか親神様・教祖にお連れ通り頂き、現在に至って居ります。私の信仰も三代目ですので、初代のお徳を戴いての現在の私であるうかと思っております。

さて、日々の道として、心に置いて居ります第一点は、この世界一切親神様からの戴き物、この戴き物に対して、日々御礼御礼で通らせて頂く事。夫婦は勿論のこと、親子、兄弟姉妹、縁あって社

会的つながりを頂いたお互い、又衣食住の全て、親神様からの戴き物で、平身低頭、心ひれ伏して頂戴せねばならないのではなからうかと思えます。

「夫婦拝み合い」は、よく聞かせて頂きますが、親子、兄弟姉妹その他つながりのあります人々に對しても、手を合わせて拜んで通らせて頂かねばならないのではなからうかと思えます。と云いますのは、お互い前生はどんな関係であったかは分かりませんが、前生で借りを残して来た人々を、親神様が今生種々のつながりを持たせて頂き、借りを返して行くよう、生涯この人々にしっかりと勤めるようにと、お与え頂いたものであるうかと思えます。

夫婦でも、どういふ相手も戴くのも、親子でも、どういふ親の処へ生まれてくるのも、又どういふ子供を戴くのも、兄弟姉妹でも、長男長女に生まれるのも、弟分妹分として生まれるのも、又どういふ間柄としてお互い知り合うのも、全て親神様のなされる技と思われまます。でありますから、心の有り様で、相手に不足させたり、腹を立たせたりすることのないよう、相手を言ばせ、満たさせるように心をつかい勤めて行かねばなからうかと思ひ、又これが陽気ぐらしの元ではなからうかと思ひます。

第二点は、教祖存命の理をしつかり戴くということ。私共の代に到りましては、教祖のお姿はな

く、教祖に接したという方は皆無ではなからうかと思ひます。種々と御講話では、教祖教祖とお聞かせ頂き、御本部では御承知の通り、御存命同様にお住まい頂いて居りますが、さて私自身顧みまして、いつもどうだろうか反省ばかりです。教祖に常にお入込み頂き、常にお座りして頂けて居るような心遣いをさせて頂かなければならないのではなからうかと思ひます。朝夕の御挨拶、おはようございます「おやすみなさい」は云うに及ばず、日々どんな些細な事でも、その都度、事細かに教祖に御報告、御相談申し上げて、教祖に御座り頂いて居られる緊張感を、常に持たせて頂くことが大事ではなからうかと思ひます。このように、常に教祖に心を通わせて頂く中に、御存命同様に手をお引き頂きお連れ通り頂けるのではなからうかと思ひます。

最後に第三点として、いんねんをしつかり自覚させて頂き日々をとおらせていただくということ。初代に信仰の元一日をしつかり心

に治めさせて頂き、何で神様のお話を聞き始めたのか、その初代さんの道をしっかりと通らせて頂くことを心がけることが大事ではなかるうかと思えます。初代さんというのは、どこの初代さんでも、命をかけた真剣さというものがあつたのではなかるうかと思えます。二代さんは初代さんと共々に通られて居る場合が多く、御苦労も共々にされて居られるようですが、三代四代と代を重ねて来ますと、元一日が薄れてしまい、何でこんな事が、というような事になってしまいます。これでは初代に申し分けなく、元一日を忘れることなく、いんねんの自覚をしっかりとらせて頂き日々を通して頂かねばなかるうかと思えます。

以上つたない信仰で、皆様方には、誠に頼りない事とお思ひでしょうが、日々の道の目標として居る処です。今回の役目、これにて御免こうむらせて頂きます。



少年会だより

狭山鼓笛隊

こどもおぢばがえり初参加



七月三十一日、夏のこどもおぢばがえりの夜のパレード、狭山鼓笛隊と書かれた真つ赤な横断幕が見え、その後ろから真つ白なユニホームに包まれ一生懸命踊っているバトン・ポンポンの子供たち。そして、真剣な面持ちのドラムメジャー。その後少し緊張気味の子供たちが歩いていきます。たくさんさんのライトを浴び、たくさんさんの視線を感じ、そしてたくさんさんの声援を受け、背中に記された「さやま」の文字がとて大きく見えました。

八月一日、午前中こどもおぢばがえりの行事に参加し、午後はひたすら練習という大変ハードな内





容で、子供たちも疲れたよつで、その日の夜は早く寝てくれました。二日は、神殿の前でのお供え演



奏。昨年の八月三〇日に結成してから今までの練習の成果を、親神様、教祖に見ていただきました。その後、審査を受ける「オンパレード」に出させて頂き、銅賞を頂きました。みんな、一手一つになって本当に頑張ってくれました。とても素晴らしい感動、そしてとても大きな喜びを与えて頂きました。これからもみんな、尚一層頑張つて行きたいと思えます。「さやま」の文字をもっともっと大きなものにする

まで。

参加総人数 少年会員 二六名

育成会員 一七名

合計 四三名

布教推進週間活動報告

今年も、布教推進週間の活動として、狭山部内の各分会に委員を派遣して、その布教活動を支援させて頂きました。以下はその記録です。実施日、実施場所、参加者、その内容の順に記しています。

8月24日 狭山 杉本栄一、杉本満 神名流し

9月1日 陶器坪 10時〜12時 杉本旬、西尾隆英、辻尾利信 神名流し・戸別訪問

9月2日 四海浦 9時30分〜12時 杉本旬、西上孝、阪口宣広 神名流し・戸別訪問

9月3日 上神(狭神・神広美) 10時〜12時 梅井正広、西尾隆英、阪口悦伸、阪口宣広、西上孝、岩出泰子、角田千代子、角田順子、西上晶子 神名流

し・戸別訪問

9月5日 狭阪 梅井正広、西上孝、米田二郎、米田秀司、小林ちず子 神名流し

9月9日 大狭深 杉本旬、阪口宣広、西尾隆英 戸別訪問

9月11日 泉鳳 西上孝、阪口宣広、濱本秀彦、濱本順一、濱本慶三 神名流し・戸別訪問

9月12日 狭千廣 杉本満、濱本順一、山口渡、(少年会員：山口みお、山口創一郎、山口あい) 神名流し・戸別訪問

9月13日 梅井正広、杉本満、阪口進、杉本旬 神名流し・戸別訪問

9月21日 杉本旬、杉本満、阪口宣広、谷幸夫、谷直子、中尾茂、春木朝子、春木たつ子、西井勝代、寺山艶子、寺山須美子、藤本葉留美 てをどりまなび(十二下り)の後、戸別訪問

編集後記

文字を大きくせよとの意見がありましたので、すこし大きくしてみました。いかがでしょう。(や)